

確かな学びのための「学習の手引き」

阿武町市立阿武中学校

生徒と教師が評価の基準を共有すること

本校では『「自ら考え、主体的に学ぼうとする生徒の育成」～かかわる力の育成と個に応じたきめ細やかな指導法の研究～』という主題（副題）を掲げて研究を進めた。

研究を進めるにあたり、生徒自身が自分の学力について、何をどのように評価されるかを知ること、つまり、生徒と教師が評価の基準を共有することが大切ではないかとの考えが出された。評価の規準などを学習の手引き（ガイドブック）として生徒に提示することは、多くの生徒が訴える「勉強の仕方が分からない」という問いに対する答えにもつながるのではないかと考え、学習の手引きを作成することとした。

また、手引きを作成することで、教師も担当する教科における学力について、具体的にとらえながら、生徒たちの確かな学びについてきめ細やかに取り組んでいこうということになった。



確かな学びのための「学習の手引き」

作成にあたって

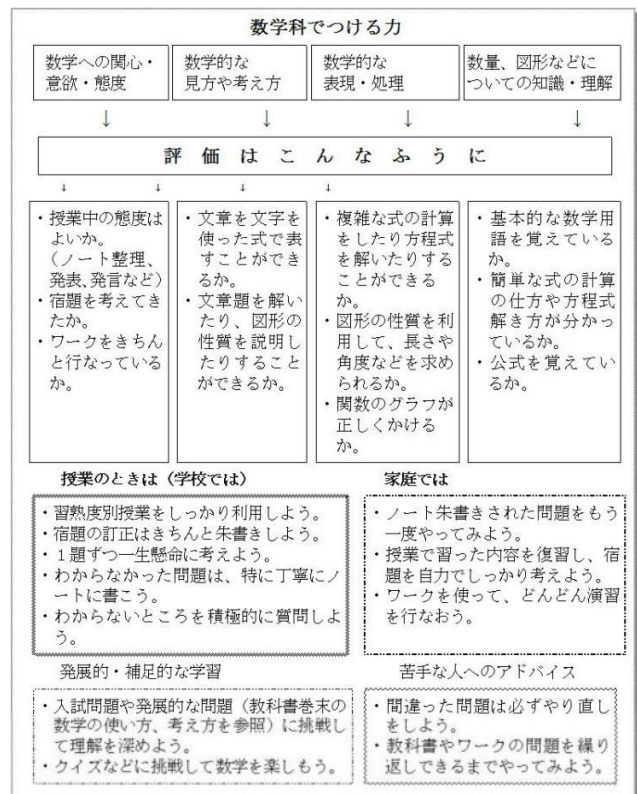
まず、各教科ごとに、評価の観点を示した。

そして、「評価はこんなふうに」として、各観点ごとに、どのような点を評価するのかという内容を、分かりやすい言葉で示すことにした。さらに、授業中の学習の仕方、発展的・補足的な学習、家庭学習の方法、その教科が苦手な生徒に対するアドバイスなども取り入れた。

全体的な様式は教科で統一し、生徒が見やすいように考慮した。

生徒への説明と配付

生徒への配付時には、各教科で授業の時間を使って、ていねいに説明した。特に1



年生は、初めての定期テストでもあり、「勉強の仕方が分からない」と不安を抱えていたので、学習の手引きを活用し、学級活動の時間に指導にあたった。

2・3年生の中にも同じような悩みを抱えている者も多く、生徒たちの学習に役立てることができた。



生活習慣との関連

研究2年目には、基本的な生活習慣の確立が大切であることを意識付けるために、下記のような内容についても紹介することとした。

手引きの実際

学力は元気から 確かな学力と生活習慣

生徒の皆さんは、学力＝勉強と思っはいませんか？
実は、学力・体力・気力を身につけるには、身近なところにあるのです。
それは、「生活習慣」です。当たり前の生活（食事、睡眠、遊び、あいさつなど）がきちんとできているかどうか、実は皆さんの学力の向上に大きな影響を与えるのです。
最近では、「早寝・早起き・朝ごはん」というキャッチフレーズを耳にしますね。生活が乱れていると、どうしても勉強までエネルギーが足りなくなります。もし、皆さんが学力の向上を望むのなら、頭がしっかり日を覚ますなど、身体中心の学習の受け入れ態勢を整えることがとても重要になるということです。
より良い生活習慣が学力・体力・気力の基盤であることを意識して、確かな学力を身につけましょう。

以下の資料は、学級通信に掲載された「シリーズ 学力は元気から」の抜粋資料です。

朝ご飯の力

朝ご飯にはパワーを高めるのに必要な働きがあります。地球上の生き物すべてが時計回りのリズムを持っていて、朝ご飯を食べることで生活リズムのスタートスイッチが入ります。朝ご飯を食べないと、脳の働きを食ってからでないと、一日のリズムが始まりません。
主に授業は午前中、つまり朝食前に終わっています。だから、登校しただけで脳のコンディションが全調になっていない。それを支えるのが「朝食」です。
最近では、学力と朝食に関する調査研究が続き、驚くべき結果が出ています。学力をつけるには、食べたもので脳が働くということを実証して、毎日朝食を作り、家族が一緒に食べたりして、子どもの心をパワアップすることが大切になってきます。方々のよい習慣。
炊きたてご飯にみそ汁、のりの巻物といったシンプルなおかずでも立派なメニューです。

「脳は大食い」

そのⅠ ～ 脳は大食い ～

脳は、とても食いしん形で大食いです。食事は健康の支えになりますが、必要とするエネルギーは一日の総エネルギーの2割程度です。つまり、私たちが食べる食べ物のうち、実に 1/4 を脳が消費するのです。
脳が働くために必要なエネルギー源は「ブドウ糖」だけです。（脳が嫌いな）ブドウ糖は、ごはんやパン、めん類などからつくられます。ご飯のパンを食べて30分くらい経つと、ブドウ糖が次々と脳に送り込まれていきます。朝は、胃袋が空っぽだけでなく、脳もお腹をすかせてエネルギー切れの状態です。だから、朝食抜きは勉強にとっても大きなマイナスとなります。

ちゃんと朝ご飯

そのⅡ ～ ちゃんと、朝ご飯 ～
【めでた解決法】

朝食を食べているといっても、主食とおかずがしっかりそろっている場合と飲み物だけ、パンとコーヒーだけでは大きく効果が違ってきます。
温かい湯かきとともに、ふわり立ち上がるみそ汁の香りが、「みそ汁」は腸活に存在が、具だくさんにすれば栄養価も野菜、豆腐、あげ、いも類、海藻などいろいろな組み合わせが、栄養を吸収しやすくなります。
みその主原料は大豆。タンパク質、レシチン、食物繊維など豊富な「脳の肉」、レシチン位、記憶や情報伝達をよくし脳を活性化してくれます。そして、タンパク質は脳の構成物質ですから大変重要です。

「学習の手引き」についての生徒の感想

学習の手引きは、研究の立ち上げの時期に、教師の試行錯誤の中でできあがったものである。生徒の声を生かしながら、生徒にとって役立つものに改善していきたい。

< 生徒の声 >

家庭でやるのがよく分かった。「苦手な人へのアドバイス」はやってみるともっと得意になりそうで、勇気づけられた。自分の勉強の仕方について考えさせられた。

自分の勉強の仕方について考えさせられた。

教科ごとの評価の観点が分かった。どこをどうがんばればいいのか分かった。

テストの時にどんなことをすればいいかが分かって便利。

先生方の体験談や先輩からのアドバイス等もあったらしい。

テスト必勝法、勉強が楽しくなる方法、受験のことをもっと載せてほしい。